

令和5年7月度

ネットパトロール記録

概要（傾向・事例等）

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、学校内外の行事もコロナ以前に戻っているようです。7月、8月の夏休み期間中は、様々な部活動や地域スポーツクラブの大会などがあり、多くの人と触れ合う機会が増えます。普段は会うことのない人たちと交友を育み、大会等が終了した後も、SNS等を介した交流が続くことはごく自然です。中には、対面交流で知り合った友人の友人にも交流が広がることもあるようです。そういった際に気を付けたいのが、SNSのアカウントを誰が見ているか、という点です。大会等で知り合った人たちに自分のアカウントを見つけやすくするために、フルネームや学校、学年、部活動名などの詳細なプロフィールを記載することがあります。「インターネットに載せることは全世界に公開することと同じだ」と言われることがありますが、ここ数年のSNSは、アカウント情報や投稿した地域だけでなく、プロフィールや投稿内容などを元に、同じような趣味や興味を持つ人たちに「お勧めする」機能が強くなってきており、自分が見てほしいと思っている人**以外**の人たちにも、プロフィールや投稿が見られています。何らかの悪意を持っている人の目に触れることもあり得ます。プロフィール情報は抑制的にし、鍵アカウントで運用するなどの自衛が求められます。



今月のおねがい

～関係のない人にも見られています～

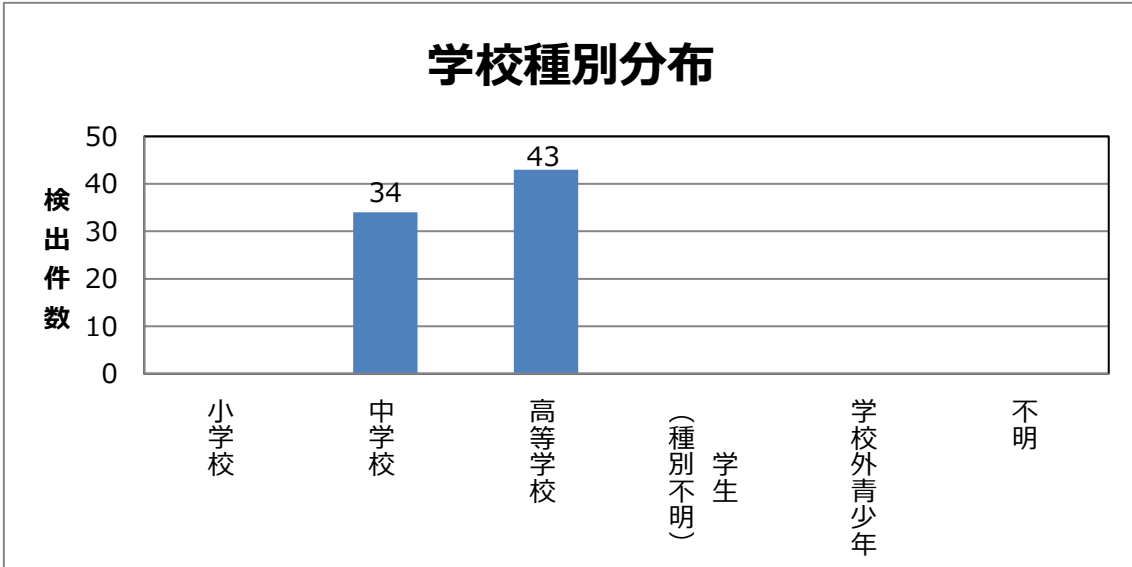
同じ部活をしている、同じ推しを推しているなど、共通の話題があれば、対面でなくてもすぐに親しくなれます。しかし、同じことに関心があるように装って、ネットで近づいてくる者がいるのも事実です。ネットでつながっている人が誰なのかを見極めることが難しければ、ネットでの交流は特定の話題の範囲内にとどめ、プライベートな事柄を話題にしないなど、工夫をしてください。

検出件数

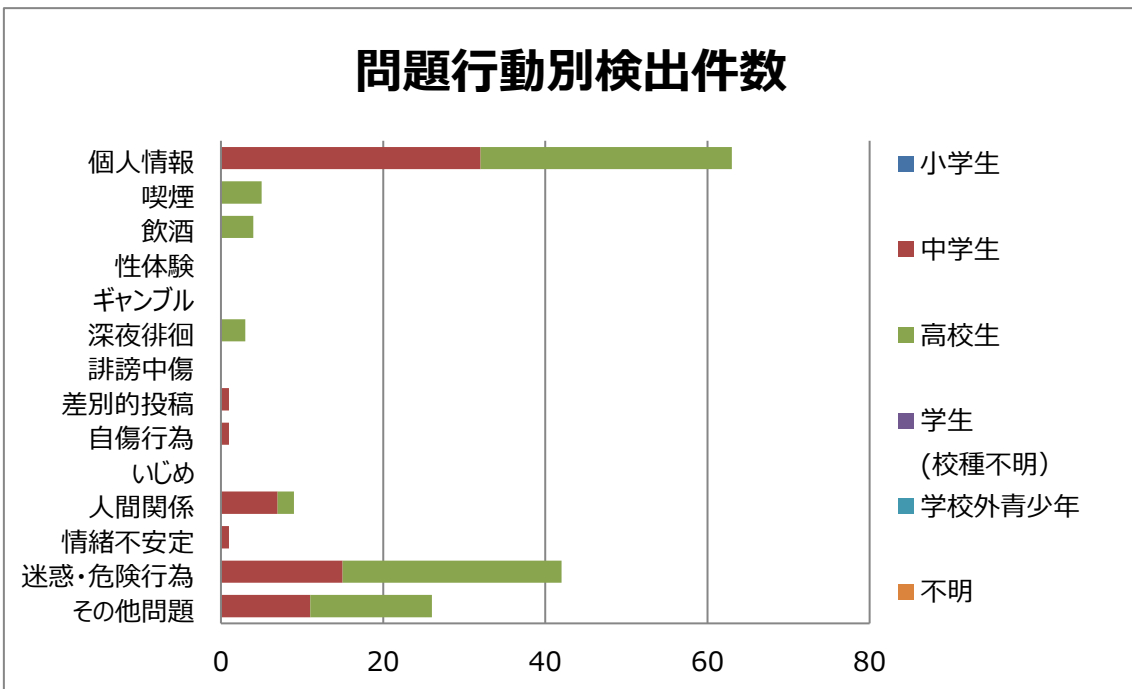
7月の検出件数は**77**件でした。



学校種別検出件数

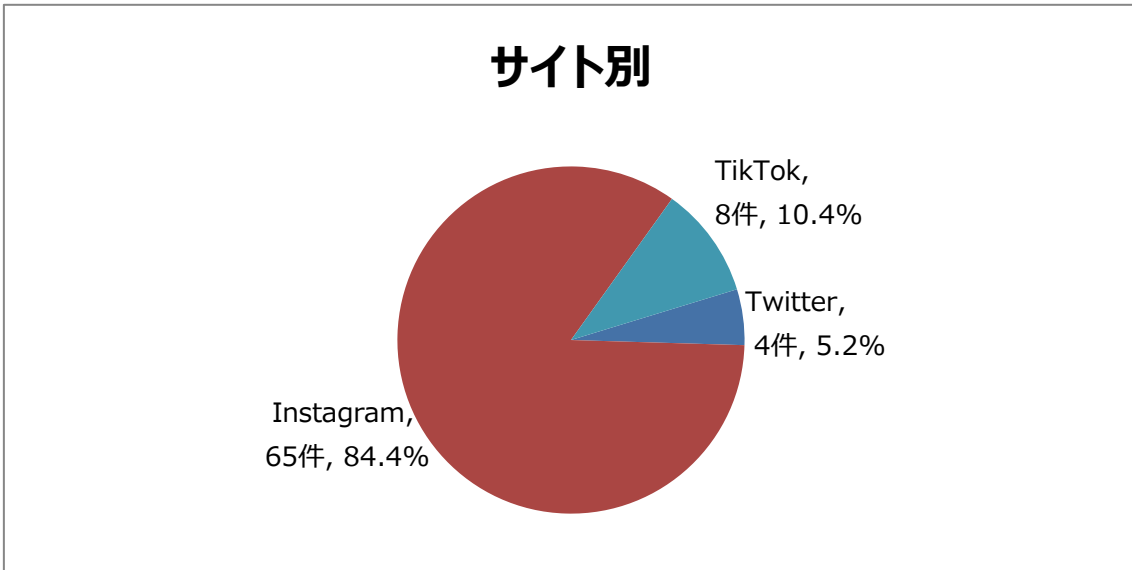


問題行動別検出件数





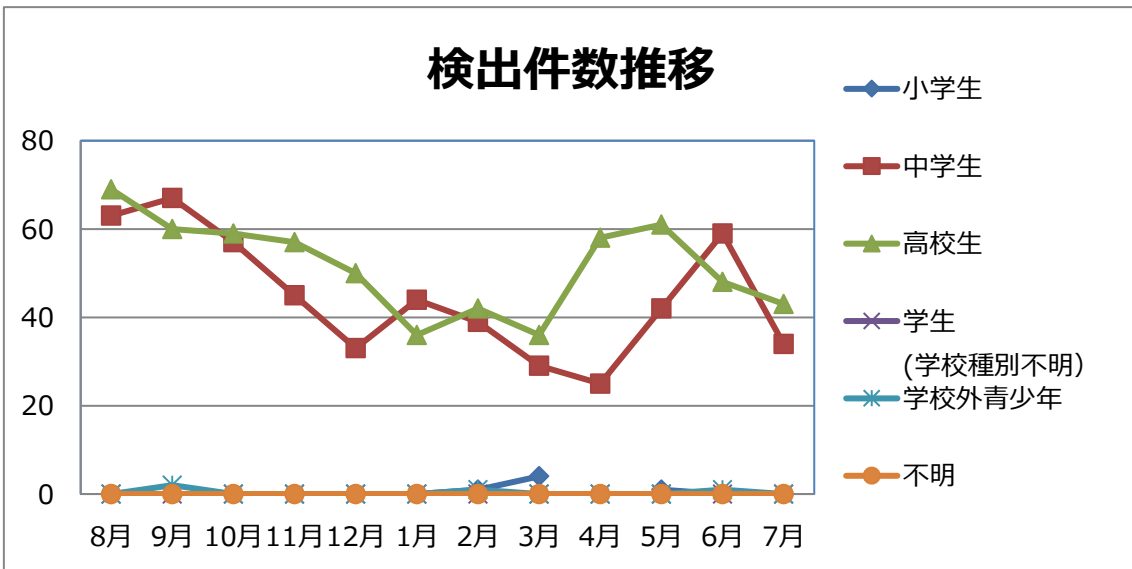
サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



検出数推移



以上